

# みくまの 2月号 マンスリータイムズ



## みんなで勝ち取った優勝！！



## 支援体連サッカー大会

1月19日（金）、田辺スポーツパーク陸上競技場にて、第15回和歌山県支援学校体育連盟サッカー大会が開催されました。本校から高等部スポーツコースの生徒9名が参加しました。

行きのバスの中は、活気と笑顔にあふれていました。今回の参加はBリーグですが、各校十分に練習を重ねて来ているのがよくわかりました。みくまの生徒たちもこれまでの練習の成果を発揮しようと、準備運動等にしっかり取り組み、試合に望みました。

予選リーグ第一試合は、紀北支援学校相手に2対0で大会初勝利！緊張の中、ボールをよく追いかけて、味方に繋ぎ、チームワークが随所に見られました。試合後、みんなで勝利の喜びを分かち合いました。続く第二試合も、はまゆう支援学校に2対0で連勝！ゴールを決めた後には、みんなでハイタッチをする表情がとても輝いていました。

決勝リーグでは、きのかわ支援学校に3対1と、完封こそ逃したものの3連勝！見事なハットトリックも見られました。決勝戦は、和歌山さくら支援学校。なんと決勝戦でも、4対0の完封勝利！お互いに声を掛け合い、フォローしながらパスを繋ぎ、ゴールに向かって行く姿に感動させられました！

スポーツを通して、互いに協力し助け合い、認め合う。そして自信をつけて成長していく。

そんな姿を見せてもらった大会でした。本当におめでとう！！



## 将来のための勉強 ～先輩の話を聞く会～



1月25日、高等部では、職業生活・家庭生活の授業で、高等部3年生が行った実習の報告会と卒業生から話を聞く「先輩の話を聞く会」を実施しました。

実習報告会は、事業所ごとにまとめたポスター発表を行い、頑張ったこと、苦労したこと、後輩へのアドバイスを端的にまとめていました。3年生の発表はとっても緊張しながらも、ゆっくり丁寧に聞き取りやすい発表でした。



先輩の話を聞く会は、平成24年度に卒業し、特別養護老人ホームで介護士として働いている先輩の話を聞きました。まず、先輩から資格を取得した時期やかかった費用、大変だったこと、1日の仕事内容などを教えてもらいました。

質問コーナーでは、通勤方法や休日の過ごし方、悩んだときにはどうするのかなど、先輩に答えてもらうことで、将来への不安を少し取り除くことができましたようです。

実習報告会や、先輩の話を聞く会を通して、どの生徒もどこかすっきりした表情をしていました。



## 製材所見学・木工教室 ～紀の国緑育推進

1月23日に小学部高学年は、新宮市にある地域特産紀州材の製材所へ見学に行きました。苗木を見せてもらった後、木がどのような工程で加工されているかを、原木市場、丸太加工、プレカット製材の順番に見学しました。児童たちは、加工される様子を見て「すごい」「速い」「大きい」等、興味をもって説明を聞いていました。また、大きな木を運ぶフォークリフトにも乗せられたり、木を運んだり加工したりするための機械についても勉強しました。重たい木が簡単に運ばれる様子を見て驚いていました。



後日、製材所で加工された木を使った木工教室がみくまの支援学校にて行われました。毎年来てくださる講師と再会を喜ぶ児童もいました。講師による丁寧な説明と児童に寄り添った支援を受けながら、一人一人が自分でプリント入れラックを製作することができました。「ここで働くにはどうしたらいいですか？」と質問する児童もいるなど、子供達にとっても意欲を高める大変貴重な経験となりました。

